

産業廃棄物処理施設で火災発生！

火災予防を徹底しましょう！

平成 25 年 12 月 24 日、横浜市内の産業廃棄物処理施設において火災が発生しました。

出火原因は調査中ですが、ひとたび火災が発生すると鎮火するまでには、数日間を要する等、火災が長期化する傾向にあります。また、有害ガスが発生した場合などは、二次災害の発生が懸念されることから、日ごろの安全管理を徹底し、より一層の火災予防に努めていただきますようお願い致します。

★ 火災予防対策の例

- 1 金属の破碎や裁断による火花が、他のごみ等に着火しないよう徹底する。
- 2 発酵や酸化して発熱しやすいものの取扱いに注意する。
- 3 危険物等の溶剤が混入し、化学反応を起こして発熱することがないように、分別を徹底する。
- 4 夜間における部外者の侵入防止及び施設内の整理・整頓等放火されない環境づくりを徹底する。

火災のリスクが潜んでいることを念頭に置き、今後も火災予防に万全を期していただきますよう、よろしくお願い致します。

平成 26 年 1 月 4 日にも、横浜市内の産業廃棄物処理施設で火災が発生したため、消防機関から、各社十分注意するよう連絡がありました。